

新しい時代のニーズに対応する、印象、設計、調整、修理、患者への説明

チェアサイド修理のノウハウも、

▶▶▶▶ 動画でわかりやすく解説!



ポリアミド樹脂による

ノンクラスプデンチャーの臨床応用 Vol. 34

ここ日本でも近年定着してきた感のあるノンクラスプデンチャーですが、医学的エビデンスが少なく、長期症例報告なども殆ど無いのが現状です。しかし患者様のニーズは年々高まる一方で、導入されている先生方も、審美的改善の効果は理解できるものの、咬合含めた義歯としての機能面、物性的に本当に問題ないのか、長期経過の中で残存歯や顎堤への影響は無いのか、耐久性を含め患者に勧めていいものなのか等、様々な疑問点がありませんか？そこでノンクラスプ義歯を臨床導入して12年、現在までに1,100床以上という驚異的な実績を出されている、岡山市ご開業、吉崎元彦先生のセミナーを開催することになりました。ノンクラスプ義歯の臨床における重要なポイント、長期含む症例報告、また独自に確立された義歯修理の極意も動画で公開頂く、ノンクラスプデンチャーの決定版ともいえるセミナーです。是非ご参加ください。



こんな感想をお持ちの先生方におすすめ致します

- ◆ ニーズはあるが、あまり良いイメージを持っていない
- ◆ 素材のたわみは問題ないのか？ 鉤歯への負担も不安
- ◆ 維持腕（樹脂アーム）のゆるみに悩んでいる
- ◆ 院内での修理が出来ないので患者さんに勧めにくい
- ◆ 耐久性を考えると自費として勧めるのに躊躇してしまう
- ◆ 患者さんにどう説明したらそんなに成約できるのか？

日時 2020年 3月 1日 (日)

10:00～13:00

(受付 9:30～10:00)

会場 神戸国際会館 9階 大会場

神戸市中央区御幸通8-1-6

定員 60名 (対象: 歯科医師、医院スタッフ)

費用 3,000円 (税込) ※ 医院スタッフ様は無料



■ 吉崎 元彦先生

- ・昭和52年 大阪歯科大学卒業
- ・昭和52年 岡山大学医学部附属病院
口腔外科勤務
- ・昭和55年 吉崎歯科診療所勤務
- ・平成18年 医療法人 吉崎歯科
理事長就任

疑問を持たれている方もおられると思います。またポリアミド樹脂は弾性樹脂である為、従来の義歯とコンセプトが大きく異なり、設計や取り扱いに違いが生じてきます。幸い愛歯さんの協力の下で12年間に1,100症例以上経験することができ良好な結果を得ています。ノンクラスプデンチャーの適応範囲や調整のポイント、修理やリベースの必要性が生じて来た時の対応の仕方等を説明させて頂きたいと思います。また今の保険制度では今後も経営的な厳しさは増していきますが、この初期投資が殆ど要らないノンクラスプデンチャーの導入は収入増に大きく繋がると思われます。実際当医院でも減収傾向にあったのが増収に転じています。このノンクラスプデンチャーを増やしていくコツ等も併せてお話ししたいと思っています。

ごあいさつ

我々歯科医師にとって部分床義歯にクラスプが付属するのは当たり前の事と思ってきましたが、新素材の開発によりクラスプのない義歯が出来るようになり臨床に普及しつつあるようです。これは部分床義歯の歴史から見て革新的な事と思われませんが何分その歴史は浅く、また臨床報告もあまり目にする事もないため本当に使い物になるのかと

吉崎 元彦

お申込み・お問い合わせ

別紙申込用紙にご記入頂き、FAX、TEL、またはHPからお申込み下さい。

主催: 株式会社 愛歯 兵庫・大阪営業所

TEL 06-6428-5839 FAX 06-6428-6089



YouTube

セミナーPVをご覧下さい

